

『ため池ハザードマップの作成』

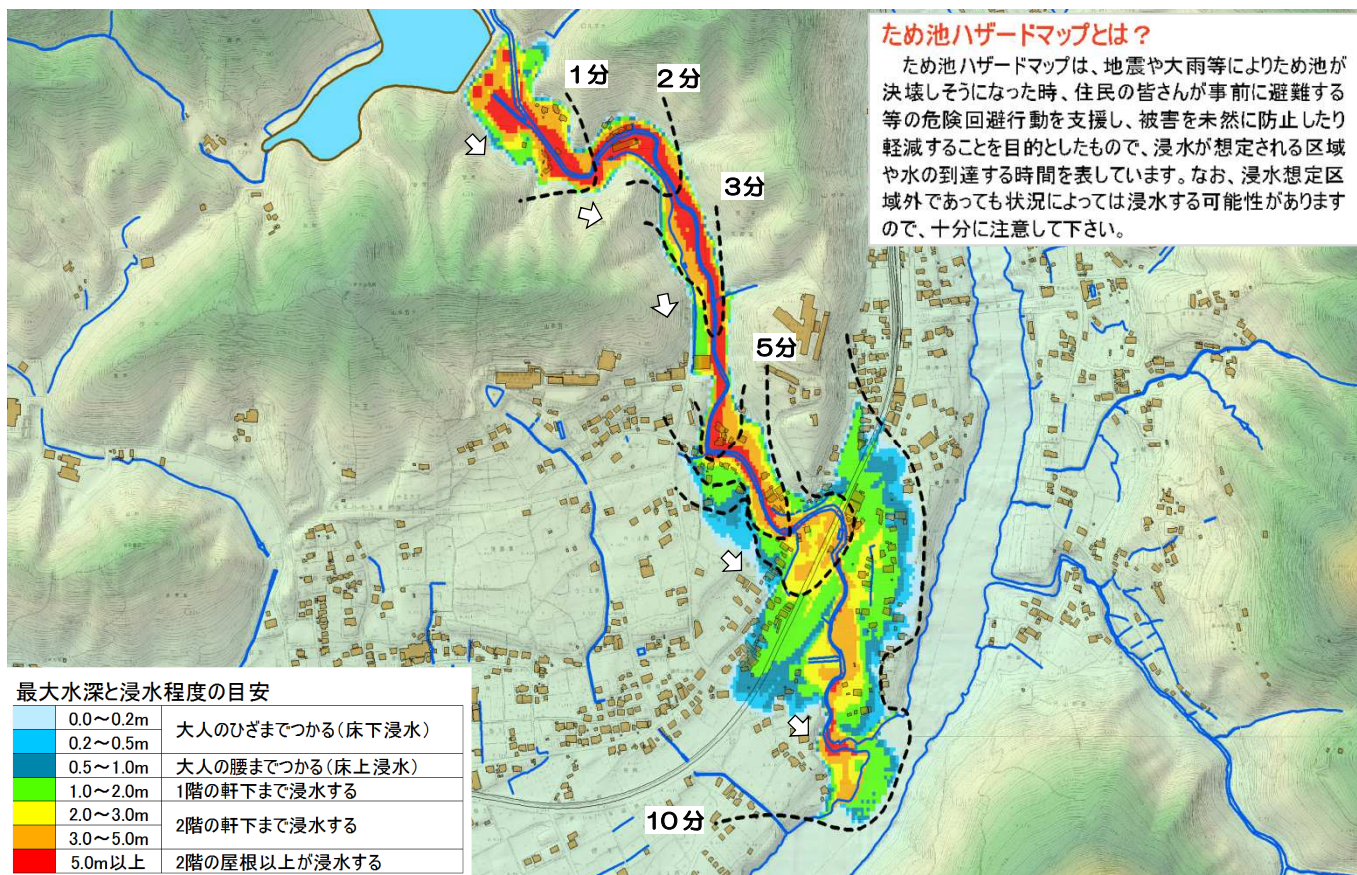
ため池耐震調査の実施有無に関わらず、作成することができます!!



農林水産省農村振興局防災課『ため池ハザードマップ作成の手引き (H25.5)』に従い、二次元不等流解析による簡易氾濫解析を行い、その結果をもとに、ため池ハザードマップを作成します。

特徴

- 氾濫解析ソフト : 農村工学研究所「ため池 DB ハザードマップ/簡易氾濫解析 ver4.0」を利用
- 粗度係数の設定 : 浸水域の土地利用条件に応じ、適切な**合成粗度係数**を設定します
- 破堤地点の設定 : 堤体に**複数の破堤地点**を設定し、想定可能な最大の浸水範囲を求めます
- 各種出力図作成 : 浸水域の最大水深、最大到達時間、最大浸水時間、さらに**歩行困難度**を計算
- 浸水域の現地確認 : 現地でアンダーパス、盛土等の影響を確認し、必要に応じて**浸水域を修正**
- 情報の重ね合わせ : 浸水域、避難所、防災機関、医療施設、地籍等、多様な情報を **GIS** で重ねます
- マップレイアウト : 地図面、文字面を協議決定し、わかりやすく**説得力のあるマップ**を作成します
- 汎用データの出力 : GIS データ (**SHAPE** ファイル形式)、印刷用データ (**AI** 形式) を出力します
- 住民説明支援 : 住民説明用資料の作成、**ワークショップの企画**、専門的事項の説明を行います
- 防災教育支援 : 得られた電子成果を今後の防災教育に生かすため、**GIS システム**を提供します



調査の流れ



わかりやすいハザードマップの作成

● 谷池の場合、氾濫水は一気に流下します。避難方向、避難場所の確認可能なハザードマップを作成します。

